

第 66 回 長野県山岳協会 定期総会

2025 年 4 月 6 日 長野県山岳総合センター

総 会 次 第

司会：事務局長

- 1 開会の辞 副会長
- 2 物故会員への黙祷 司会
- 3 会長挨拶 会長
- 4 来賓・顧問挨拶
- 5 新規加入団体の紹介
- 6 議長、議事録署名人選出（各 2 名）
- 7 資格審査（規約第 16 条第 3 項による）
評議員総数 30 名 出席者（ 名） 委任（ 名）
- 8 議長着席・挨拶
- 9 議事
 - (1) 2024 年度事業報告・活動報告
 - ① 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
 - ② 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - ③ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山・医科学）
競技部（国スポ・スポーツクライミング・国スポ準備室）
 - ④ 高体連 高体連
 - ⑤ 個人会員
山岳図書資料館
SKIMO
 - ⑥ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
 - ⑦ ガバナンスコード スポーツ団体セルフチェックシート
 - (2) 2024 年度決算報告 事務局次長
 - (3) 2024 年度監査報告 監事
 - (4) 規約改正
 - (5) 表彰
 - (6) 補充役員の承認
〈休憩〉
 - (7) 2025 年度事業・活動計画
 - ① 方針 理事長
 - ② 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
 - ③ 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
 - ④ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山・医科学）
競技部（国スポ・スポーツクライミング・国スポ準備室）
 - ⑤ 高体連 高体連
 - ⑥ 個人会員
山岳図書資料館
SKIMO
 - ⑦ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
 - (8) 2025 年度予算案
 - (9) その他案件
- 10 議長退任
- 11 事務連絡 事務局長
- 12 閉会の辞 副会長

総務部

2024 年度活動報告

1) 活動概要

総務部においては、事務局長、事務局次長（庶務担当）同（会計担当）やまなみ担当、ホームページ担当で構成するとともに、「やまなみ」では各支部から選出された編集委員及び寄稿者「ホームページ」は投稿者からの協力を得てそれぞれの業務が遂行できた。

2) 活動内容

次ページ以降に記載

3) 総括

【事務局担当】 事務局長・庶務担当次長が中心となりメール、郵送等での多量な通知類を各委員会、4 役などに振分けて転送、必要に応じ調整、回答、返送作業などに対処した。しかしメールでの送致ゆえか件数、内容とも膨大な量となっている。

【会計担当】 会費督促、賛助広告費請求、各委員会などへの活動補助金などの適正執行に対処。各委員会での支出抑制などで総額はほぼ当初予算と同じになったが、2028 年長野国スポを見据えた対応、北信越ブロック内での UAAA 総会、全日本登山大会の開催に伴う参加者派遣などにより特別事業費で大幅な予算超過となった。

【やまなみ担当】 機関紙「やまなみ」発行し、活動の広報を通じ会員間の繋がりを図るとともに記録として後世に残して行くことを目指した。しかしコロナ禍での発行継続策、物価高騰による送付経費、印刷経費上昇の影響により賛助広告費による発行・送付の基本を続けることは困難となった。これを受け今後の発行形態に関する意向調査を加盟団体、理事で実施し検討した方策の良否を次年度で検証することとした。

【ホームページ担当】 ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを活用しスピード感のある情報発信に努めた。また、SNS 発信形態の検討を進め次年度での移行を目指すこととした。

[機関紙「やまなみ」現状と今後への対応について（意向調査）集計

2024.2 集計

提出	各会への配布方法	発行を3回とする	3回とした時の配布方法	新規会員の募集	「やまなみ」「HP」での募集周知希望
加盟団体 30 中 17	Web のみ 11・6 1 部+Web 2・6	賛成 14・8 どちらでも 3・3	Web のみ 11・6 1 部+Web 3・3	行っている 11 今後行う 2	募集する内で 希望する 7
理事 22 中 11	希望数+Web 3・2 会員数 1・0	反対 0・0	希望数+Web 2・6 会員数 1・0	行わない 4	希望しない 5 未記載 1

・賛助広告主との調整が必要 ・他機関からの紙媒体送付も必要 ※次年度試行し結論を出す。

2024年度活動報告

1 活動概要

(1) 年間4回発行

(2) 協会の事業記録を主に、登山に関する記事を掲載。

事業記録記事は主に担当理事、各支部長にお願いし、また参加者の感想等についても手配をお願いした。

(3) 編集・割り付けについては、主として編集担当で行った。

(4) 発送は、郵便で行うことになったが、料金の値上げで毎回費用がかさんでいる。

2 活動報告

期 日	項 目	活 動 内 容
6月10日	253号発行 4ページ	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9月10日	254号発行 4ページ	
12月10日	255号発行 4ページ	
3月10日	256号発行 4ページ	
6月14日 9月24日 12月18日 3月24日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

3 総括

- (1) コロナ禍を乗切するため賛助会費、ページ数縮小を実施したため、必要最小限の記事掲載となった。
- (2) 発行予定の10日以降に行事があることが多く、発行予定月内に間に合わせるのが大変だった。
- (3) 医科学委員会で記事を何回も寄せていただき、会員のニーズに応えることができた。皆様のご協力に感謝するとともに、次年度もよろしく申し上げます。
- (4) 安価な送付手段の2回にわたる値上げ、物価高騰ともあいまって当初予算内での終結が不可能となった。これを受け今後の送付方法、発行回数等に関して各会・理事に意向調査を行った。各会・理事に意向調査を行い理事会において次年度の対応方法を検討した。

広報 ホームページ

2024 年度活動報告

1) 活動概要

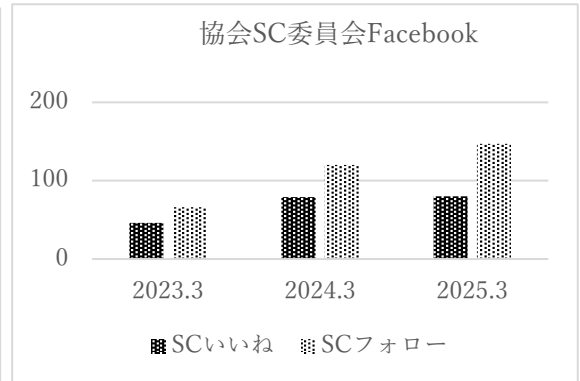
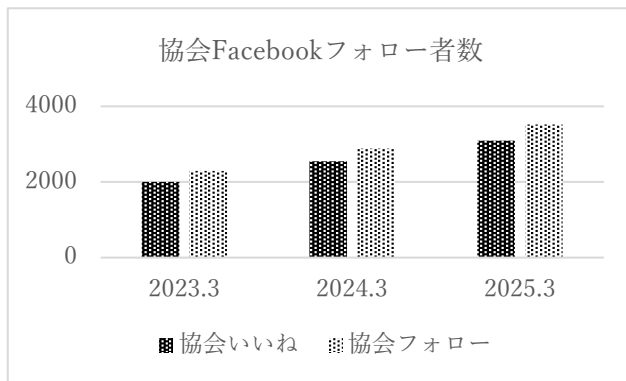
- ・ ホームページの更新
- ・ SNS(協会 Facebook 及び Instagram)を通じた、行事と山の情報発信
- ・ スポーツクライミング委員会、国体委員会と連携した競技に関する情報の発信

2) 活動詳細

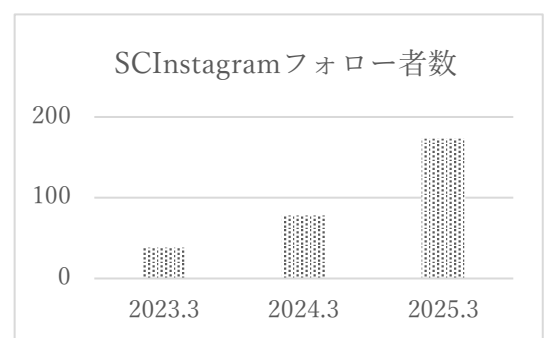
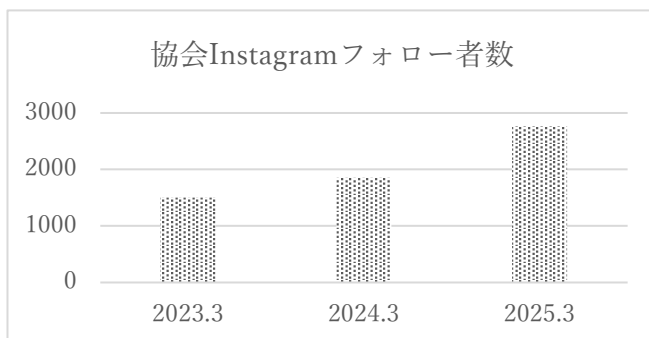
① 協会公式ホームページの更新

② Facebook、Instagram の運用(2025 年 3 月現在)

- ・協会 FB:いいね:3093(昨年度末 2547)、フォロー:3519(昨年度末 2882)
- ・SC 委員会 FB:いいね:80(昨年度末 79)、フォロー:147(昨年度末 120)



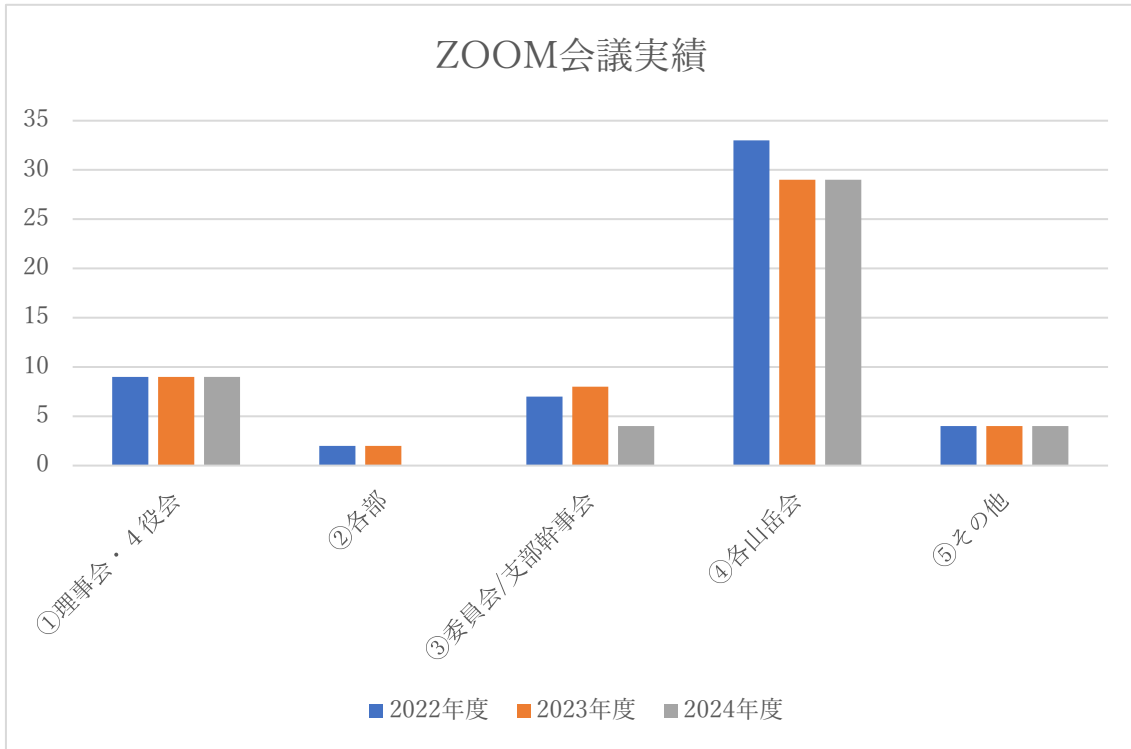
- ・協会 Instagram:フォロー:2760(昨年度末 1850)
- ・SC 委員会 Instagram:フォロー:173(昨年度末 78)



・SNS においては、協会全体、SC 委員会ともに、Instagram での伸び率が高かった。

3) 総括

SNS での発信と、協会関係の連絡を HP 上で行うことが主な業務であった。
各委員等の担当とは、メールや SNS での連絡で、迅速にやり取りが出来た。
対外的には旬の山行報告が人気。各会の皆さまへ更なる情報提供をお願いしたい。



※2024年4月8日～2025年4月5日 ZOOM会議実績

合計：46回

- ・②各部の実績なし
- ・③支部幹事会の実績なし。
- ・④山岳会例会に活用されている。
- ・⑤その他は、山岳総合センターの管理運営部会、総会

2022年度から2024年度で、大きな変化はありませんでした。各部で活用されており、効果はあったと考えます。

参考：ZOOM年間使用料：21,250円

2024 年度 長野県山岳協会 東北信支部 活動報告

2025/3/9
東北信支部長
和田 司

1. 活動概要

2024/6/1	物見岩清掃	
2024/6/8	夏山登山教室	小布施町 雁田山
2024/11/23	交流登山	長野市 若穂太郎山

2. 総括

- 1. 物見岩清掃
参加者 20 名
霊山寺住職による安全祈願法要の後、清掃、懇親会を行った。
- 2. 夏山登山教室
参加者 一般 26 名、長山協 18 名
多くの方に参加いただき、盛況であった。
事故を起こしてしまい、負傷者 1 名、警察・消防に通報し救助を依頼する事態になってしまった。
事後に、当事者・関係者への聞き取りによる原因の究明、再発防止策の立案、負傷者への対応、報告書の作成・提出、遺失物の捜索を行った。
- 3. 交流登山
参加者 11 名
晩秋の穏やかな天気の中、にぎやかに交流ができた。

以上

中信支部

2024年度 活動報告

(1) 活動概要

- ①幹事会の開催を行った。
- ②次年度以降の活動について協議を行った。

(2) 実施報告

回	実施日	教室名称	活動内容
1	4月10日（水）	第1回幹事会	・今年度事業計画について
2	7月17日（水）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月27日（土）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月27日（木）	第3回幹事会 （支部総会）	・今年度事業について ・来年度事業計画について

(3) 総括

- ・夏山登山教室は、山岳総合センターとの共催事業として予定してましたが実施中止となりました。

長野県山岳協会_諏訪支部

2024年度活動報告

1) 活動概要

期 日	項 目	活動内容
4/18 (木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/10 (木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/21 (日)	夏山登山教室	八ヶ岳_西岳 実施
9/12 (木)	第3回幹事会	清掃登山最終確認、登ろうふるさとの山検討
9/29 (日)	八ヶ岳清掃登山	天狗岳で実施 (参加19名)
10/20 (日)	登ろうふるさとの山	朝日村より鉢盛山 (参加14名)
1/17 (金)	支部新年会	今年の反省と来年度の活動等を語り合う
3/7 (金)	支部総会 懇親会	2024年度活動報告・決算 2025年度活動計画・予算

2) 活動内容

- 夏山登山教室 八ヶ岳_西岳 一般参加 11名 (内小学生1名) スタッフ 8名
- 八ヶ岳清掃登山 参加者19名
- 登ろうふるさとの山 朝日村より鉢盛山へ 参加者14名
- 支部新年会 上諏訪 いずみ屋 7名

3) 総括

- ・夏山登山教室は途中で下山 (協会員付き添い) する参加者があるも、その他の参加者は全員無事登頂。
- ・第47回となる清掃登山: 過去に比べゴミの量は減っており、ここ数年で一番少なかった。
- ・登ろうふるさとの山: 朝日村の鉢盛山は、登山者が少なく静かな山で、山頂からの穂高岳周辺の景色は絶景でした。

伊那支部

2024年度 活動報告

2024年	5/14 (火)	幹事会
	7/7 (日)	ふるさとの山に登ろう ＜駒峰山岳会＞幹事会有り 笠松山 19名
	7/21 (日)	夏山登山教室 ＜飯田山岳会＞ 風越山 14名
	11/2 (土)	秋山交流会 ＜伊那山の会＞ 守屋山 悪天候にて中止
2025年	1/26 (日)	冬季訓練 ＜駒峰山岳＞ 千畳敷 9名
	2/9 (土)	冬山交流会 ＜伊那山の会＞ 守屋山 8名
	3/8 (土)	伊那支部定期総会

総括：年間を通じて活動し、支部各会との交流は図られた。

登山部

2024 年度総括

海外登山中の不慮の事故により大西登山部長を亡くしたことは極めて残念であり、登山部にとっても大きなダメージであった。大西登山部長が目指していた登山部の新しい組織づくりを継続する。4事業(針ノ木、小川山、山のセミナー、ウィンターミーティング)を登山部直轄とし、担当者を決めて実施した。これによって指導委員会にかかっていた負担を分散し、ある程度バランスが取れた。各委員会の活動については、支部選出の委員にも協力してもらうため、年度初めに顔合わせの一斉委員会を実施したが、まだ協力体制が十分でない委員会もあった。

4 事業	実施日	参加者数等
第 27 回雪上技術交流会 in 針ノ木	5/11～12	参加者 12 名(協会員)
第 38 回長山協キャンプ in 小川山	10/12～13	参加者 48 名 (研修 46 名、懇親会 42 名)
長山協「山のセミナー」	1/25	あがたの森にて、参加者 41 名 (協会員 34 名、一般 7 名)
第 10 回Wミーティング in 八ヶ岳	2/15～16	行者小屋をベースに 4 グループに 分かれて研修(参加者 42 名)

長山協総会提出 指導委員会報告

3月4日 会計報告・別添の規程改正案と合わせ指導者有資格者充て配信した内容を持って、活動報告とさせていただきます。

文言の誤りの訂正等 2名から意見をいただきました。

特段の反対意見なく、規程の改正と合わせ承認いただいたものとしています。

2024 年度長野県山岳協会指導委員会総会

昨年度の総会での議論を受けて、今年度はメールにて各種報告・提案を配信させていただきます。

現状

- ・長野県山岳協会所属指導者有資格者 81名在籍
共通科目受講中 3名

提案事項 1

指導委員会規程の改定

昨年度の総会において提起・議論された指導委員会のあり方を受け、提案します。

●背景

◎「指導員会」という会費を徴収していた独立性の高い組織が、いつの間にか協会内の指導委員会とハッキリ境が無くなってしまっていたことによる会費の使い方等の問題が提起されました。

◎JSPO の指導者制度・システム変更に伴う規程内容の変更が追いついていない状況でした。

これらを受け

この際、協会規約に基づく機関であることを明確にして、「指導員会」という過去に存在した独立性の高い組織からの転換をハッキリさせるため、**添付**のように規程を変更したいと考えます。

○規程の主たる考え方

1. 協会内に位置づけられた専門委員会の一つであることを明瞭にします。
2. そのために、規程を変更します。

○服務規程については廃止

1. JMCSA による「山岳公認コーチ関係規定・規約および検定基準」に詳細が定められています。
2. 懲戒を含む内容が現行 JSPO の指導者制度と合いません。
3. 会費の徴収を廃止することによる関連内容は不要です。

追)

◎指導委員会規程について現行を改正する形で作成しました。

◎JSPO・JMCSA の緒基準・協会の規約等に沿って必要に応じて精査されて行くことを前提に当面に上記「主たる考え方」に沿うよう作成されていることを承知おきください。

報 告

実施事項

- ◎AC1 専門科目検定
- ◎登山部として実施
 - ①針の木交流会
 - ②小川山キャンプ
 - ③ウインターミーティング
- ◎山岳総合センターとの共催
 - ④スキルアップ研修会（危急時対応）
- ◎更新講習となるための各種手続き（上記①～④）

2024 年度会計報告（決算報告資料参照）

- 指導委員会会費（23 年度分）未納 14 名
未納者には、既納者との公平性の観点から、今後も納付依頼をします。

長山協総会提出 指導委員会計画

2025 年度事業計画

- 会計担当は、当面、高橋が継続します。
- 針ノ木、小川山、ウインターM は、24 年度同様 登山部が実施する方向で依頼します。

2025 年度予算案（予算案参照）

- 規程の変更が認められれば、会費徴収は無くなります。
- 現状残っている金額を最低限必要な分に使用していきます。
- 指導委員会としての事務経費、更新講習の管理画面の対応は必要で、今後も続いていくため、協会からの補助をお願いしていきます。
- 今後は、検定・更新講習への参加者から費用負担を原則とします。
検定費用⇒検定員・その他スタッフの費用。
更新講習⇒JSPO の管理画面の日常事務対応。現地スタッフ費用。

検定について

- AC1 は実施の方向 4 月 19.20 日 5 月 10.11 日を予定
検定で必要となる経費、主に人件費、交通費については、昨年の試算や JMCSA の検定料を参考に 15,000 円を目安に、受験者数と対応するスタッフの数により見積もり決定していきます。
- 現在、主任検定員が 2 名いますが両者とも 2026 年度末までの資格となっています。主任検定員の育成は急務の課題です。

協会の中に位置づけられた専門委員会の一つである指導委員会の規定

会費徴収を無くす

会計に係わる基本的な立て付けの変更

協会所属の JSPO 指導者資格を有する者は委員会の構成員となっていたが、会費の徴収を止めたことから、他委員会と同様な扱いとなる。

昭和から何時までかは分からないが、「指導員会」なるものが 独立してあったようで、その頃の思いから、現行の指導委員会規程や指導委員会は指導員会と指導委員会がごっちゃになってしまっているという指摘がされていた。いる。

長野県山岳協会 指導委員会規程

(名称)

第1条 本委員会は長野県山岳協会指導委員会（以下「本委員会」といい）本部を長野県山岳協会（以下「協会」といい）事務局内におく。

(組織)

第2条 本委員会は協会所属の以下の（公益財団法人）日本体育協会、（公益社団法人）日本山岳協会公認の指導員（以下「指導員」）で組織する。

(1) 山岳指導者

山岳コーチ 1、山岳コーチ 2、山岳コーチ 3、山岳コーチ 4

(2) スポーツクライミング指導者

スポーツクライミングコーチ 1、スポーツクライミングコーチ 2

スポーツクライミングコーチ 3、スポーツクライミングコーチ 4

(目的)

第三条 本委員会は長野県山岳協会規約第 18 条に基づく機関であって、協会加盟団体員及び地域住民と一般登山者に対して正しい山岳知識、登山技術の指導普及をはかり、安全な登山技術及び登山指導方法の研究を行い、登山マナーの向上と遭難防止をはかる。

(事業)

第四条 本委員会は前条の目的達成のために次の事業を行う。

(1) 指導員の派遣。

(2) 登山に関する講習会の開催。

(3) 指導員の養成と検定。

(4) 指導員を対象とした研修会、研究会の開催。

(5) その他必要な事業。

長野県山岳協会 指導委員会規程

(名称)

第一条 本委員会は長野県山岳協会指導委員会（以下「本委員会」という）とい
い本部を長野県山岳協会（以下「協会」という）事務局内におく。

(組織)

第二条 本委員会は協会規約第 18 条の 1 に基づく機関であって、同条の 3 により
各支部推挙の委員及び協会所属の以下の（公益財団法人）日本スポーツ協会
（以下「JSPO」という）、（公益社団法人）日本山岳・スポーツ協会（以下
JMSCA という）公認指導者（以下「指導者」という）からの委嘱委員で構成す
る。

(1) 山岳指導者

山岳コーチ 1、山岳コーチ 2、山岳コーチ 3、山岳コーチ 4

(2) スポーツクライミング指導者

スポーツクライミング 1、スポーツクライミング 2

スポーツクライミング 3、スポーツクライミング 4

(目的)

第三条 協会加盟団体及び地域住民と一般登山者及びスポーツクライマーに対し
て正しい山岳・スポーツクライミング知識、登山・スポーツクライミ
ング技術の指導普及をはかり、安全な登山・スポーツクライミング技術及
び指導方法の研究を行い、登山・スポーツクライミングマナーの向上と
遭難事故防止を図る。

(事業)

第四条 本委員会は前条の目的達成のために次の事業を行う。

(1) 指導者の派遣

(2) 登山・スポーツクライミングに関する講習会の開催

(3) 指導者の養成と検定

(4) 指導者を対象とした研修会、研究会の開催

(5) その他必要な事業

(構成及び役員)

第五条 専門委員会は、各支部推挙の専門委員と専門委員会委嘱の専門委員で構成する。

2. 委員長1名、副委員長1名は、専門委員会で互選する。
3. 監事2名は、総会で選出する。
4. 任期は2年とし、再任を妨げない。

(任務)

第六条 委員長は本会を代表し会務を統括する。

2. 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその任務を代行する。
3. 専門委員は、総務、検定、普及、研究、研修の各任務を分担する。
4. 監事は指導委員会の会計を監査する。

(機関)

第七条 指導委員会の会議は総会、専門委員会とする。

2. 総会は毎年2月に開き、専門委員、指導員の過半数（委任を含む）の出席により成立し、事業報告、会計・監査報告、及び事業計画、予算の承認、その他の必要事項について審議決定ならびに監事の選出を行う。
3. 総会及び専門委員会は委員長が招集する。
4. 専門委員会は次の部をおく。
 - (1) 総務部 各事業の計画に関すること、指導員の掌握に関すること、会計に関すること、各部との連絡に関すること、他の部に属さない事項。
 - (2) 検定部 指導員の検定に関すること。
 - (3) 普及部 各種講習会の開催及びテキストの作成に関すること、PRに関すること。

(運営及び役員)

第五条 本委員会の運営のため以下の役員及び担当を置く。

2. 委員長1名、副委員長1名とし本委員会で互選する。
4. 総務、検定、研修、登録管理の各担当を置く。
5. 任期は2年とし、再任を妨げない。

(任務)

第六条 委員長は本会を代表し会務を統括する。

2. 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその任務を代行する。
3. 担当は総務、検定、研修、登録管理の各任務を分担する。
 - (1) 総務 指導者の掌握に関すること。各担当との連絡に関すること、他の担当に属さないこと。
 - (2) 検定 指導者検定に関すること。各種講習会への協力及びテキストの作成に関すること。
 - (3) 研修 指導者相互の講習、研修、養成に関すること。登山・クライミング技術その他専門的研究・指導に関すること。
 - (4) 登録管理 長山協や指導委員会が実施する指導者講習・研修等のマイページ上での管理に関すること。

4. 削除

(機関)

第七条 削除

(4) 研究部 登山技術、その他専門的研究・指導に関する事。

(5) 研修部 指導員相互の講習、研修、養成に関する事。

(会計)

第八条 本委員会の経費は会費、協会からの交付金、寄付金、その他収入をもってあて、会計年度は3月1日から翌年2月末日とする。

2 本委員会の預貯金口座は、総務担当内の会計担当委員が管理を行い、口座の所在地を同担当委員の自宅とする。

(会計)

第八条 本委員会の経費は協会からの交付金、寄付金、その他収入をもってあて、会計年度は3月1日から翌年2月末日とする。

2 本委員会の預貯金口座は、総務担当内の会計担当委員が管理を行い、口座の所在地を同担当委員の自宅とする。

(規程の改廃)

第九条 本規程の改廃は総会で出席者の過半数の賛成をえて協会理事会の承認を得る。

(附則)

1. 長野県山岳連盟、全日本山岳連盟公認指導員規程（昭和37年11月18日）は廃止する。
2. 役員の任期は昭和41年度に限り昭和43年3月31日までとする。
3. この規程は昭和41年8月7日から実地する。
4. 昭和46年5月10日改正
5. 平成9年3月11日改正（地域スポーツ指導員制度による。）
6. 平成29年2月25日改正
7. 平成31年2月23日改正（預貯金口座を管理する者及び口座の所在地を明記
8. 令和2年2月29日改正（指導者の名称変更による）

(規程の改廃)

第九条 本規定の改廃は指導者の過半数の賛成をえて協会理事会の承認を得る。

(附則)

1. 長野県山岳連盟、全日本山岳連盟公認指導員規程（昭和37年11月18日）は廃止する。
2. 委員の任期は昭和41年度に限り昭和43年3月31日までとする。
3. この規程は、昭和41年8月7日から実施する。
4. 昭和46年5月10日改正。
5. 平成9年3月11日改正。（地域スポーツ指導員制度による）
6. 平成29年2月25日改正
7. 平成31年2月23日改正（預貯金口座を管理する者及び口座の所在地を明記
8. 令和2年2月29日改正（指導者の名称変更による）
9. 令和7年 月 日改正
指導員⇒指導者。（JSPO・JMCAに合わせた）
目的などにスポーツライミングを追加した
一部協会規約と同様の文言で混同しやすかった専門委員という言葉使いを担当に変更した。
会費を廃止したことに伴う機関、等の関連条項の削除
上記に伴い、条文の訂正
一部文言の訂正

令和7年 3月11日改正に伴う附則

(会計)

1. 従前からの独立した会費については、当面の指導委員会の運営費用として利用し、これについては、年度ごと監査を受けるものとする。
2. 残金が無くなった時点でこの附則は廃止となる。

長野県山岳協会指導員服務規程

第一条

この規程は、長野県山岳協会所属の長野県山岳協会指導員指導委員会規程第 2 条に属する指導員（以下「指導員」という）の服務に関し、必要な事項を定めるものとする。

第二条

指導員は長野県山岳協会指導委員会（以下「委員会」という）で行う総会・研修会、講習会へ年 1 回以上出席しなければならない。

2. 指導員は、長野県山岳協会（以下「協会」という）理事会及び専門委員会または団体から要請があって指導委員長から派遣の指名があった時は、その任に当たらなければならない。

3. 指導員は、会費年額 2,000 円を 6 月 30 日までに納入しなければならない。

第三条

次の各号に該当するときは、指導委員会で調査検討し、協会理事会の決定により指導員資格を失うものとする。

- (1) 正当な理由が無く所定総会・研修会、講習会へ出席しない時。
- (2) 長野県山岳協会規約に違反し指導員としての体面を汚したとき。
- (3) 長野県山岳協会の組織から離れた時。
- (4) 指導員の会費を納入期限から 3 ヶ月以上理由なく滞納したとき。または、指導員の会費を 2 ヶ年滞納したとき。

第四条（会費の免除）

指導員が日本山岳協会から休止を認められた場合、その期間に限る。ただし年度の中間の時はその年度の会費は納める。

2. 指導が勤務など特別な事情がある場合に限り、本人の申請によりその期間に限る。ただし年度の中間の時は、その年度の会費は納める。

第五条（規程の改廃）

本規定の改廃は、総会で出席者の過半数の賛成を得て理事会の承認を得る。

（附則）

1. この規程は、昭和 41 年 9 月 18 日から施工する。
2. 昭和 46 年 5 月 10 日改正
3. 平成 2 年 3 月 1 日改正

長野県山岳協会指導員服務規程 **服務規定は廃止する**

第一条関係 廃止

JMSCA による「山岳公認コーチ関係規定・規約および検定基準」があるため。

第二条関係 廃止

規程上総会が無くなるため
規程上会費が無くなるため

第三条関係 廃止

資格に関しては現行制度から、資格を失わせることは出来ないため。

第四条関係

第二条が無くなるため

4. 平成9年3月11日改正（地域スポーツ指導員制度発足による）
5. 平成29年2月25日改正
（附則）
6. この規程は、昭和41年9月18日から施工する。
7. 昭和46年5月10日改正
8. 平成2年3月1日改正
9. 平成9年3月11日改正（地域スポーツ指導員制度発足による）
10. 平成29年2月25日改正
11. 令和7年3月11日廃止

登山部 遭対委員会

2024年度活動報告

1) 活動概要

- ・登山部4事業の共催
- ・センター共催事業の実施
- ・2024年6月8日発生 of 東北信支部夏山登山教室の事故について報告書を作成、配布

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5月21日	登山部合同委員会	第1回遭対委員会 参加5名
6月16日	スキルアップ研修会① (山岳センター、指導委共催)	岩登り
6月29～30日	JMSCA 全国遭難対策委員長 会議・研修会	29日のみ委員長オンライン出席
7月1日	東北信夏山登山教室事故 検証会議	出席: 東北信支部、長山協会長、副会長、 事務局、遭対委員5名 計10名
7月12日	全国遭難対策協議会 (文部省講堂で実施)	※委員長 Online 参加
8月18日	東北信夏山登山教室事故報 告書発行	理事、各会に配布、長野県にも提出
11月17日	スキルアップ研修会② (山岳センター、指導委共催)	無雪期登山道の危急時対策

3) 総括

- ・東北信支部夏山登山教室の事故について、里山の一般ルートでも重大事故が起こりえることを再認識させられた。事故検討会議には委員全員が参加できた。
- ・ウィンターミーティングでは冬山一般縦走グループを新設、多くの参加者がいた。冬山一般縦走コースがマッチする活動内容の協会員が多いようなので、今後も研修、交流両面での充実を図りたい。

登山部 自然保護委員会

2024 (R6) 年度活動報告

1) 活動概要

委員長を交代、前委員長に助言を仰ぎつつ、事業の継続、企画、活動をした。長野県山岳総合センターとの共催にて自然観察会を3回実施した。

2) 活動内容

【協会内】

期 日	項 目	活 動 内 容
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集し、協会 HP、協会 SNS 通じて信州の山のすばらしさを周知する。
2月～	「里山情報発信」	信州の山、特に里山等を中心に、会員から情報及び写真を投稿してもらった。

【対外・外部会議等】

- ① 3月25日(月) 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会 松本市安曇支所 出席(伊久間)
- ② 4月19日(金) 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会総会 松本合同庁舎 出席
- ③ 6月9日(土) 「春の戸隠野鳥観察会」山岳総合センター共催 戸隠森林植物園 参加13名
- ④ 10月30日(水) 「秋の戸隠野鳥観察会」山岳総合センター共催 戸隠森林植物園 参加者7名
- ⑤ 11月23日(土) 「全国自然保護委員長会議・自然保護の集い」埼玉県民活動センター 参加
- ⑥ 11月24日(日) 同 エクスカーション 北本自然観察公園 参加
- ⑦ 1月18日(土) 「冬の野鳥観察会」山岳総合センター共催 御宝田遊水池 参加者16名
- ⑧ 1月22日(水) 中央アルプス国立公園管理運営計画策定支援ヒアリング オンライン
- ⑨ 2月27日(木) 中央アルプス国立公園管理運営計画意見交換会 上伊那地域振興局 出席
- ⑩ 3月14日(金) 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会幹事会 松本市安曇支所 出席

3) 総括

- ・自然保護活動という積極的な活動は出来なかった。
- ・委員会としての山の写真、里山情報発信が思う様にできていないが、SNS には会員からの投稿が行われている。
- ・来期は引き続き観察会を中核に保護活動啓発に係る活動を行いたい。

ジュニア委員会

2024年度 活動報告

(1) 活動概要

- ①ジュニア登山教室を実施した。(2回、山岳総合センターとの共催)
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行った。

(2) 活動内容

回	実施日	教室名称	活動内容・実施場所	参加等
1	8月3日(土) ～4日(日)	第1回登山教室 たかがりキッズ キャンプ	山岳総合センター たかがり山周辺 農具川	小学生20名
2	8月24日(土) ～25日(日)	第2回登山教室 親子クライミング キャンプ	ボルダリング体験 山梨県北杜市白州ボルダー	雨天のため中止
3	9月1日(日)	第3回登山教室 湯俣の自然を 楽しもう	大町市高瀬溪谷・湯俣	道路通行止め により中止
4	2月9日(日)	第4回登山教室 雪のたかがり山 ハイク	山岳総合センター たかがり山周辺	小学生5名 保護者2名

(3) 総括

- ・4回の教室実施を計画したが、天候等の理由により2回の実施となった。

登山部 国際登山委員会

2024年度活動報告

1) 活動概要

- 「長野県スパンテューク峰登山隊 2024」について海外登山検討会を実施
- シガツェ大地震発生に対し、西藏登山協会にお見舞いのメールを送信(1月)
- 長山協「山のセミナー」を開催
- 2025 サマーキャンプ企画「パキスタン Moses Peak 登山とフンザ散策」の参加者募集

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容
5月21日	海外登山検討会	「長野県スパンテューク峰登山隊 2024」の計画検討
1月25日	山のセミナー	あがたの森文化会館にて開催 参加者数 41名(協会員 34名、一般 7名)
募集期間 2月末日 まで	2025 サマーキャンプ企画 参加者募集	7/下旬～8/中旬に計画している「パキスタン Moses Peak 登山とフンザ散策」の参加申込者数 11名

3) 総括

登山部事業の「山のセミナー」を担当し開催した。海外登山報告は若者たちによる海外への2つのチャレンジの報告であった。アルパインを志す若きクライマーの未来に期待したい。医科学分野からは「登山中の疲労を考える」というテーマでの講演があり、実践に役立つ貴重なアドバイスになった。この企画は協会員が登山を学ぶ機会として一定のニーズがあるので、他の委員会と協力し今後も継続する。

数年前から構想を描いてきたサマーキャンプ企画について、2025 夏季に実施計画を立て参加者を募ったところ 11名の申し込みがあった。

医科学委員会

2024年度活動報告

1) 活動概要

登山を楽しみながら、生涯健康的な毎日を過ごす為に『日々できる事』をまた、緊急時に役立つ情報をお伝えする活動を行いました。

2) 活動内容

- 『やまなみ』への寄稿
 - ・服部徹さん、藤堂庫治さんにご寄稿いただきました。
- 『野外救命講習』開催（11月9日）
 - ・会場として信州リハビリテーション専門学校をお借りして、坂本元太氏にご講演いただきました。
 - 一般 15名、協会員 31名参加

3) 総括

ご専門の先生方にご助言いただきながら、来年度も、『生涯登山を楽しく安全に』を提案してまいります。

国スポ委員会

2024年度活動報告

国スポ委員長：浮須由実

【活動内容】

- 4/14 長野県クライミング大会開催（小谷村・ちゃんめろウォール）
5/23 競技力向上専門委員会（長野市・ホテル信濃路）
7/27～28 第45回北信越国民スポーツ大会クライミング競技会
「桜ヶ池クライミングセンター」富山県南砺市
「Step BOULDERING」石川県小松市
10/12～14 SAGA 国民スポーツクライミング競技会（佐賀県多久市）
11/21 県スポーツ協会とスポーツ課 ヒアリング
12/19 競技力向上専門委員会（長野市・ホテル信濃路）
2/9 次年度県大会準備会（安曇野市・豊科文化交流センター）
3/4 次年度県大会準備会（松本市・edge & sofa 松本店）

【大会成績】

長野県クライミング大会

- MI 総合 1位 京屋 仁 2位 鏑木 大河 3位 岡本 怜大
MII 総合 1位 山田 泉都 2位 中嶋 諒 3位 徳嵩 悠乃

北信越国民スポーツ大会

- 成年男子（監督：橋本今史 選手：京屋 仁・岡本怜大）
3位（L3位 B4位）
少年男子（監督：橋詰正興 選手：野本晃多・片井登翔）
3位（L4位 B2位）
少年女子（監督：小沼卓也 選手：山田泉都・徳嵩悠乃）
1位（L1位 B1位）

SAGA 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技会

- 成年女子（監督：橋詰正興 選手：三森里子・中嶋諒）
L：11位 B：8位入賞
少年女子（監督：橋本今史 選手：山田泉都・徳嵩悠乃）
L：5位 B：6位

【次年度に向けて】

SC 委員会、国スポ準備室、県内クライミングジム等と連携して選手強化、長野国スポに向けての準備を進めていく。

競技部・スポーツクライミング委員会

2024年度活動報告

1) 活動概要

- ① 委員会を年4回開催。指導方針と選手の成長についての話し合い。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習。
- ③ 全種目合同での練習会または講習会を年4回開催。
- ④ 複数種目が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自の錬成（合宿）をそれぞれ開催。
- ⑤ 県のマルチサポート事業の活用。
- ⑥ スポーツクライミング強化戦略プランの作成
- ⑦ トップコーチ招聘事業の活用
- ⑧ 強化選手を指定した。

2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容 参加人数
4/28	全強化選手・小谷	強化練習 13名
6/1	少女・ベースキャンプ	強化練習 2名
6/2	少年・モノリス	強化練習 4名
6/13	成年男女・アクティバ	強化練習 3名
6/22	成男・富山桜が池	強化練習 3名
7/6	少女・深谷	強化練習 4名
7/7	少年・ベースキャンプ	強化練習 5名
7/8	成女・瑞牆	岩場強化練習 1名
7/15	成男、少年男女・桜が池	強化練習 8名
7/15	少女・川崎	強化練習 2名
9/15、16	静岡合宿	強化練習 4名
10/3	成女・ロクボク	強化練習 2名
10/6	少女・アクティバ	強化練習 2名
11/7	成男・瑞牆	岩場強化練習 2名
11/24	少女・ベースキャンプ	強化練習 3名
12/8	少女・佐久志賀	岩場強化練習 1名
12/15	少年・アクティバ	強化練習 3名
1/19	少女・伊那エッジ	強化練習 3名
1/26	少年・ベースキャンプ	強化練習 5名
2/4	親子で学ぶジュニアクライマー向け講習・山岳センター	ジュニア向け講習会 9名

3) 総括

- ① 強化指定選手の選考基準の文章を変更した（HPにて公開済）
- ② 各支部からの委員構成ではなく国体経験者を委員にしていることで役割を分担し業務をスムーズに行うことが出来た。
- ③ マルチサポート事業は10回行った。来年度はさらに活用したい
- ④ トップコーチ事業を活用し有意義な練習ができた。

国スポ準備室

2024年度活動報告

1) 活動概要

- ①JMSCA 国スポ委員会常任委員としての活動
- ②大町市、長野県との連絡調整
- ③県からの各種調査への協力
- ④会議への出席
- ⑤その他

2) 活動内容

- ①毎月
- ②③④⑤ 下記参照

期 日	項 目
5 月	審判員養成計画
6月25日	市町村・競技団体調整会議(長野市)
7月	リハ大会意向調査(第一次)作成
8月	競技用具整備計画調査(第二次)作成
8月	練習会場調査(第二次)作成
9月	競技役員等編成調査(第一次)作成
10月11日	SAGA 国スポ視察(～15日)
10月31日	第2回正規視察
11月21日	県ヒアリング(競技用具整備計画・競技役員編成調査について)
12月13日	県・市との話し合い(大町市総合体育館)
2月27日	市町村・競技団体調整会議(オンライン)
3月21日	市、JMSCA との話し合い(大町市総合体育館、旧大町北高跡地)

3) 総括

- ◇来年度よりスタッフを本格的に募集する必要がある。
競技役員、プレイヤー、審判員など
- ◇スタッフへの協力を是非お願いしたい。

高体連

2024年度活動報告

1. 活動概要

- ① 令和6年度長野県高等学校総合体育大会 第53回登山大会の2泊3日フル開催
これは、令和6年度 第68回全国高等学校登山大会（福岡）
令和6年度 第36回北信越高等学校登山大会（新潟）
への選抜大会を兼ねる
- ② 令和6年度 第36回北信越高等学校登山大会への選手派遣と支援
- ③ 令和7年度 第37回北信越高等学校登山大会（長野）の開催に向けた、
令和6年度 第44回北信越協議会を開催
（注意：北信越大会前からこの協議会は始まっている）
- ④ 令和6年度全国高等学校総合体育大会 第68回全国高等学校登山大会への選手派遣と支援。
- ⑤ 令和6年度東北中南信地区新人体育大会の開催
- ⑥ 第15回全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣

2. 活動内容

- ① 令和6年度（南信地区）総合体育大会
期 日 5月10日(金)～11日(土)
場 所 茅野市
会 場 八ヶ岳 編笠山・西岳
成 績 男子1位 小林亮太・尾沢聖矢・仲田成寿・秦野圭（飯田高校）
女子1位 小池美緒（飯田 OIDE 長姫高校）

- ② 令和6年度 長野県高等学校総合体育大会 第53回登山大会

期 日 令和6年5月30日(木)～6月1日(土)

場 所 松本市・安曇野市

会 場 蝶ヶ岳

成 績

	男子	女子
1位	松本県ヶ丘高校 93.6点	屋代高校 84.9点
2位	大町岳陽高校 92.0点	長野吉田高校 84.6点
3位	長野吉田高校 90.6点	松本県ヶ丘高校 84.0点

- ③ 令和6年度 北信越高等学校体育大会 第36回北信越高等学校登山大会
 期日 令和6年6月14日(金)～16日(日)
 場所 新潟県南魚沼市
 会場 巻機山(まきはたやま)
 成績

	男子		女子
優秀校	長野吉田高校	優秀校	松本県ヶ丘高校
	大町岳陽高校		長野吉田高校

- ④ 令和6年度 全国高等学校体育大会 第68回全国高等学校登山大会
 期日 令和6年8月2日(金)～8月6日(火)
 場所 福岡県立英彦青年の家
 会場 中岳・北岳・南岳・岳滅鬼岳
 成績

	男子		女子
23位	松本県ヶ丘高校 96.2点	35位	屋代高校 85.1点

- ⑤ (南信地区) 沢登講習会
 期日 8月24日(土)
 場所 泰阜村
 会場 万古溪谷

- ⑥ 令和6年度地区新人体育大会

北信地区：岩菅山(志賀高原) 10月5日(土)～6日(日)

〈個人男子〉1位 加藤尚杜(屋代)

〈個人女子〉1位 小林寧音(飯山)

東信地区：根子岳・四阿山(上田市) 9月28日(土)～29日(日)

〈個人男子〉1位 谷澤互啓(上田西)

〈個人女子〉1位 古川桜子(上田西)

南信地区：八ヶ岳 硫黄岳・天狗岳 9月13日(金)～14日(土)

〈団体男子〉1位 尾沢聖矢・仲田成寿・秦野圭(飯田高校A)

中信地区：美ヶ原(松本市) 9月13日(金)～14日(土)

- ⑦ 第15回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

期日 12月21日(土)～22日(日)

会場 埼玉県加須市

〈個人男子リード〉井出有翔 75位(佐久長聖) 野本晃多 86位(小諸)

〈個人女子リード〉山田泉都 4位(松本美須ヶ丘)

※長野県選手としては歴代最高成績

徳嵩悠乃 10位(都市大塩尻)

永原史華 73位(上田西)

古川桜子 78位(上田西)

〈女子学校対抗〉上田西 9位

3. 総括

コロナ禍以来はじめて、2泊3日のフル日程で大会を実施することができました。しかし県高体連は現在、部活動の消滅も視野に今後の在り方を模索し始めています。つまり若い世代の育成をどうするのが危惧されるところです。

人的支援については、若い教員数が減り、50代・60代（退職後）が中心となり、体制が組めなくなっています。

金銭的支援についても、相変わらず教員の定額働かせ放題が続いており、日々の残業（月100時間）と引率手当（1日2700円）は改善されていません。

こうした中、長山協より登録料補助もあり、高体連としても感謝を申し上げます。

個人会員

2024年度活動報告

1) 活動概要

- ・個人会員数 30名（年度内新規11名）
- ・継続・入会対応と手続き、及び会員証の作成送付
- ・イベント案内の発信 12件
- ・山岳関連情報の発信 7件
- ・指導普及部での対応から担当理事を置くことになったため、個人会員に関する規定を改正し、運営体制を整えるとともに金融機関手続きを行った。

山岳図書資料館

2024年度活動報告

1) 活動概要

- ・資料収蔵状況 42,230点
- ・長野県山岳協会・ネパール山岳協会友好山岳協会協定書を衝立形状に表装した。
- ・「長野県山岳協会・チベット登山協会兄弟友好協定書」「長野県山岳協会・ネパール登山協会友好協定書」を山岳資料として市立山岳博物館に寄託し保管状態改善及び保管場所の安定を図った。

SKIMO（山岳スキー競技）

2024年度活動報告

1) 活動概要

2005年開催の第1回全日本山岳スキー選手権大会（柵池高原）以来多くの北信越5県からも支援を受けスタッフを送り込み大会を支えて来た。2022年より富山県山岳連盟が主管となり大会運営が行われている。長山協はこれを支援する立ち位置となっている。2023年度からスピード競技の部分が長野県を会場に実施されている。

実施期日の関係から2025年度開催となるが2025年4月19日～20日の志賀高原横手山での競技に向けスタッフ人選を行った。この大会はイタリア、ミラノ・コルチナダンペッソオリンピック予選の日本選手団選考大会となる。

2024(令和6)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理について

【総括】

今年度は、次期5年間の指定管理者になることが決まった。年度途中で新しい職員を採用し、次年度以降の計画を立て始めた年となった。

主催事業としては、西穂山荘支配人で気象予報士の栗澤 徹さん講師の「春山の気象」をテーマにした動画発信や、LINE を活用したオンライン登山相談所、夏と冬に YouTube ライブ配信をした「オンライン安全登山講座」等、コロナ禍の時期にスタートした新しいスタイルの事業が定着してきた。

施設利用の面では、老朽化に伴う人工岩場と浄化槽の大規模修繕工事が行われた。人工岩場については、5月以降利用できない状態が続き、予定していた講習会が急遽中止となる事態も起き、申し込みをした方や人工岩場の利用者に迷惑をかけた。

1. 主催講習について

- ・山岳協会の各委員会や支部（ジュニア、指導・遭対、自然保護、中信支部）、山岳会と共催という形で、各種講座や教室を開催した。
- ・昨年度から始まった5回シリーズ「シニア安全登山教室」には、のべ60人(1回は、雨天のため中止)を超えるシニア世代の方が参加した。次年度も引き続き開催予定。
- ・小学生対象のボルダリング教室「わいわい Kids ボルダリング教室」は、昨年度から引き続き2部制とし、大町近隣の年長から小学生の子ども達がボルダリングを楽しく学んだ。
- ・信州大学特任教授の原山智先生が講師の、信州の山を「地質」から紐解く講座「ハラヤマ探偵団」には、延べ100人近い参加者あった。
- ・教職員向けの講座「登山の引率 はじめの一步～学校登山の引率者向け～」と「信州の山で学ぼう ～乗鞍岳～」は、県総合教育センターと共催し、多くの教職員の参加があった。
- ・2003(平成15)年から本格的にスタートした「リーダーコース」は、コースとしてではなく、修了生を対象としてのみ開催した。来年度は、「リーダーコース」は開講しない。

2. 利用事業について

- ・ボルダリングマットを1枚物に新調し、利用者の安全面と利便性が向上した。

3. その他の事業等について

- ・雪山登山における安全登山啓発のポスターとチラシを作成するとともに、八ヶ岳美濃戸登山口および中ア千畳敷登山口にて、安全登山啓発を実施した。
- ・大町市中間教室「アルプスの家」の授業を山岳センター職員が担当した。今年度は、ボルダリングや鷹狩山登山の計6回の授業を担当した。
- ・調査研究として取り組んだ「学校登山の現状と今後の山岳総合センターの取り組み」のまとめをHPに公表した。
- ・学校登山に協力できる長山協会員スタッフ登録及び派遣窓口開設に向けて、準備を始めた。
- ・旅行業更新登録と、デジタル簡易無線局の再登録を行った。

2024（令和6）年度 長野県山岳総合センター 収支見通し

	科目	見通し	備考
収入	指定管理料	26,239,000	
	施設利用	819,900	施設利用・宿泊・ボルダリング利用
	その他収入	682,684	外部への職員派遣など
	前期繰越し	172,927	前期の純利益
	主催事業収入	2,948,870	預かり金を除く
	小計	30,863,381	
支出	人件費	21,859,550	法定福利費、臨時職員含む
	管理経費	6,475,139	人件費以外の管理系費用、施設更新・備品更新含む
	主催事業支出	1,521,197	講師謝礼、交通費、燃料など。預かり金除く
	小計	29,855,886	
収支		1,007,495	3月28日時点の見通し

※この収支は3月28日時点のもので、ここから3月分の経費、消費税、源泉所得税などを支払った残りが今期の余剰金となる

(様式第 10 号)**スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート****[団体名：長野県山岳協会]****[記載日：2025 年 4 月 6 日]****【対応状況に係る自己評価】**

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	A-B-C
非該当	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	ⒶB-C
・規約を定め、組織的な活動を行っている。 ・会計口座は、団体活動のための専用の口座であり、個人の財産とは分別して管理・運営している。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	ⒶB-C
・公共施設の利用にあたっては、当該施設の使用を遵守している。 ・登山にあたっては、法令、長野県登山安全条例等の遵守を会員に周知している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	ⒶB-C

<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規約上で組織を定め、理事、監事を置き、担当する役員を整備している。 	
<p>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</p>	
<p>(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に一度の定期総会で基本方針の確認、承認を行っている。また、ウェブサイトで公表している。 	
<p>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</p>	
<p>(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部委員が長野県スポーツ協会協会のコンプライアンス講習に出席。 ・理事に対してコンプライアンス教育 	
<p>(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 登録選手実施、指導者実施 	
<p>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</p>	
<p>(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。 	
<p>(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。</p>	<p>Ⓐ B C</p>
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりガイドラインを決めて取り組んでいる。 	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	(A) B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	(A) B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ウェブサイト上で組織の情報を開示している。役員、規程等。 ・年度ごとの収支は、2021年度から公表している。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	
原則 ■ について	A B C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) 非該当	

表 彰

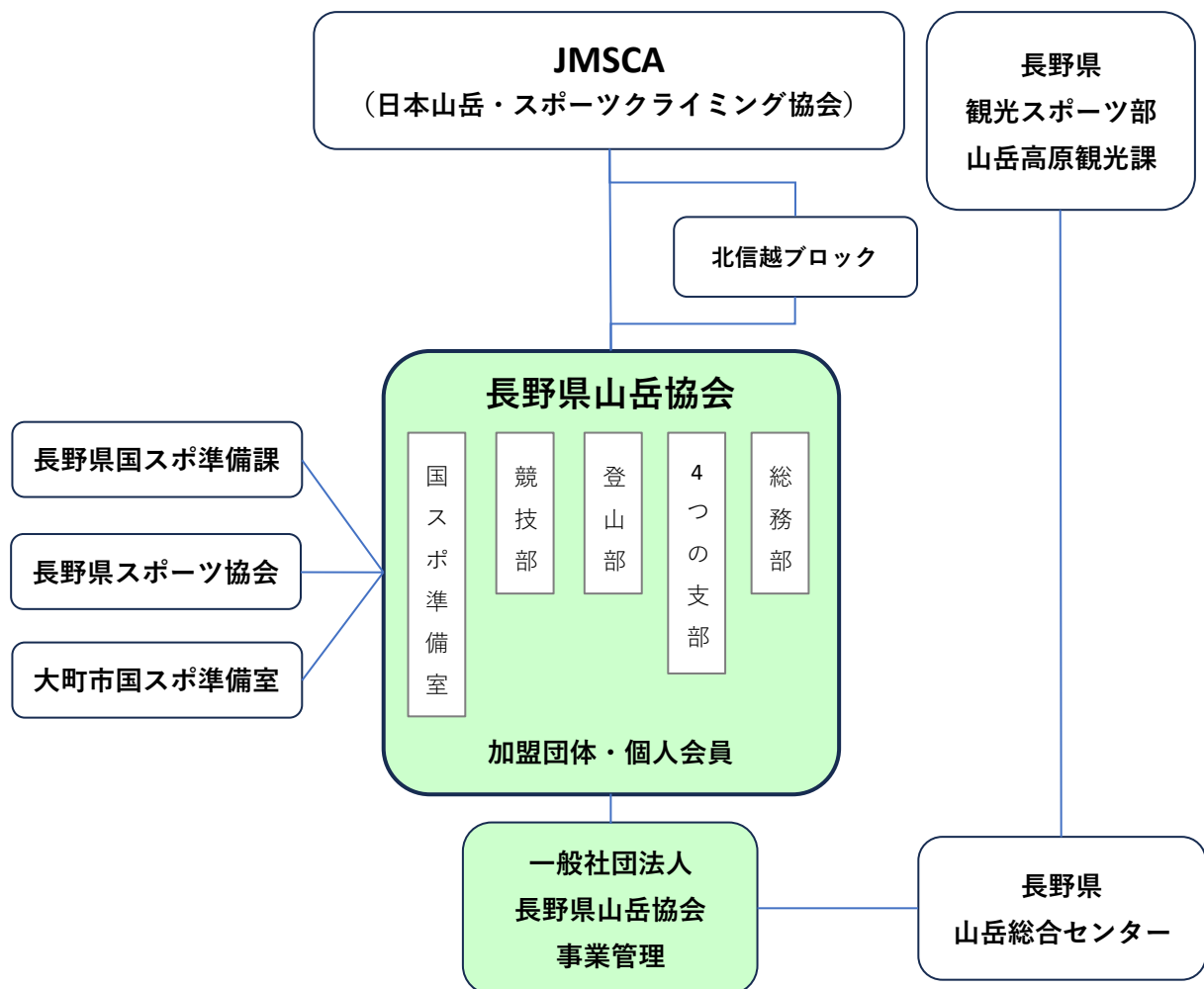
2024年度被表彰者

賞	団体名	氏 名	表彰該当事項
山岳栄光賞	国スポ成年女子長野県チーム	監督：橋詰正興 選手：三森里子 選手：中嶋 諒 トレーナー：四方祐紀	成年女子チームは、佐賀県で行われたSAGA2024 国民スポーツ大会において、ボルダー競技 8 位入賞を果たし長野県スポーツクライミング界に勇気を与えた。
山岳栄光賞	国スポ少年女子長野県チーム	監督：橋本 今史 選手：山田 泉都 選手：徳嵩 悠乃 トレーナー：望月良	少年女子チームは、佐賀県で行われたSAGA2024 国民スポーツ大会において、リード競技 5 位入賞、ボルダー競技 5 位入賞を果たし長野県スポーツクライミング界に勇気を与えた。
感謝状	故 大西浩氏	長年に渡り長山協の活動をリードし、高校山岳部、全国の登山関連機関などで安全登山啓発を行った。	
感謝状	故 宮本義彦氏	長野と中国・西藏との登山技術交流等を通して多くの岳人を育て、長山協会長として新しい流れの方向性を示した。	

2025（令和7）年度 長野県山岳協会 活動方針（案）

2025（令和7）年4月6日 総会資料

1. 協会内外の登山愛好者に、交流と啓発の場を提供する
 - ・協会員の交流の場を作る
 - ・一般登山者に安全で楽しい登山を広める
2. 長野県を代表する登山者の団体として社会的責任を果たす
 - ・JMCSA と北信越ブロックの活動に参加する
 - ・登山や山岳環境保全などに関する社会的ニーズに応える
3. スポーツクライミングの普及を推進する
 - ・スポーツクライミングの生涯スポーツ・競技としての普及を進める
 - ・2028（令和10）年長野国スポ スポーツクライミング競技会の準備を進める



【活動に関連する組織との関係】

総務部

2025 年度活動計画

1) 活動方針

迅速かつ適切な事務処理に努めて事務事業に対応して行きます。

事務的処理に当っては可能な限り複数者が関わり、正確性を期すとともに関係者の負担軽減を図り、加えて協会員が理解しやすい事務対応を目指します。

また、やまなみ編集委員、SNS 発信協力者はもとより、総務部役員での協調体制を整え知恵を出し合いながら登山活動の活性化、協会運営の円滑化に資する方策や情報の発信を適時行っていきます。

2) 活動計画

【事務局担当】 受信書類、郵送物などの円滑かつ正確な処理に努めます。

また、協会で契約する Zoom 機能の対費用効果、加盟団体の活動支援の観点から可能な限り加盟団体などの利用に供します。

【会計担当】 より一層の正確かつ円滑な会計処理を目指します。

また、2028 長野国民スポーツ大会スポーツクライミング競技の実施に向けた予算組みと適正な運用をもって同競技会の運営への寄与に努めます。

【やまなみ担当】 やまなみ担当では、引続き協会員との結びつきや協会活動の情報発信、社会的認知手段として機関紙「やまなみ」の紙媒体としての強みを生かした方策を探り続けるとともに、昨年度末の意向調査結果を踏まえた発行、配布形態を検討実施します。

【ホームページ担当】

ホームページ担当では、SNS の強みを生かした新鮮な登山情報の収集、発信の充実を目指し、本年度でのホームページ方式の変更、フェイスブック、インスタグラムのビルドアップを目指します。

各委員会、関係機関等の有益な情報もタイムリーな発信を進めます。

2025 活動計画

1) 活動方針

- (1) 意向調査の結果及び未提出会の意向確認結果に添った配布枚数とし、年間 4 回発行する。この間に費用等の比較、賛助広告主との調整、各会での運用状況を見極め次年度以降での方向を導く。
- (2) 山岳協会、各支部、各山岳会の活動記録、活動報告を中心に据え、記録および情報交換、情報提供の場にし、登山活動に活用できる機関誌を目指す。
- (3) 内容などに関する意見を各方面に聞いたり、編集委員がアイデアを出し合ったりすることで、新鮮味があり、また、読者の興味関心が持てる冊子になるよう工夫する。

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
6 月 1 0 日	257 号発行	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9 月 1 0 日	258 号発行	
1 2 月 1 0 日	259 号発行	
3 月 1 0 日	260 号発行	
6 月 1 0 日 9 月 1 0 日 1 2 月 1 0 日 3 月 1 0 日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷の一室を借用し、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

広報 ホームページ

2025 年度活動計画

1) 活動方針

- ① 情報発信力の強化と各会との連携
SNS 情報発信回数の増加→フォロワー数増加につなげる
- ② 分かりやすいホームページの運営
Google Site を利用したホームページ運営に切り替える
(作業の効率化、汎用化を進める)
- ③ 各会との連携強化
特に、HP や SNS を持つ会との連携を深める

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
通年	情報発信	ホームページ・SNS (Facebook、Instagram) 上記を中心とした迅速な情報発信
通年	情報共有及び発信	各委員会と連携して、活動内容の発信を行う
通年	協会活動の広報強化	SNS、HP 等での発信
通年	やまなみとの連携	紙媒体と電子媒体の役割分担を行い、効率的な情報発信に努める

● 個人情報の取り扱いについて

SNS、HP 等での情報発信については、個人情報保護に細心の注意を払う

2025 年度 長野県山岳協会 東北信支部 活動計画

2025/3/10
東北信支部長
和田 司

1. 活動概要

2025/5/31	夏山登山教室	下見・打ち合わせ
2025/6/7	物見岩清掃	
2025/6/14	夏山登山教室	根子岳
2025/11/15	交流登山	場所未定

以上

中信支部

2025年度 活動計画

(1) 活動方針

- ①加盟団体が交流し、親睦を深めるとともに登山技術及び安全登山の向上を図る。
- ②「登山教室」を開催し、登山活動の普及を図る。

(2) 実施予定

回	実施日	教室名称	活動内容
1	3月27日（木）	第1回幹事会	・今年度事業計画について
2	6月26日（木）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月6日（日）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月26日（木）	第3回幹事会 （支部総会）	・今年度事業について ・来年度事業計画について

長野県山岳協会_諏訪支部

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ・諏訪支部の各山岳会が登山を通じ親睦を深め、情報交換を図る。
- ・夏山登山教室は計画段階から一般参加者の安全を第一に考え、「安全、確実かつ楽しい登山」の普及を目的に、一般登山者の安全登山の向上を図る。
- ・「八ヶ岳清掃登山」、「登ろうふるさとの山」等の支部の恒例行事は継続し行う。

2) 活動計画

- 夏山登山教室
- 八ヶ岳清掃登山
- 登ろうふるさとの山
- 山菜山行

期 日	項 目	活動内容
4/17 (木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/3 (木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/13 (日)	夏山登山教室	指導部取りまとめ
9/11 (木)	第3回幹事会	夏山登山教室の反省 清掃登山最終確認
9/28 (日)	八ヶ岳清掃登山 (第48回)	普及指導部/自然保護部、取りまとめ ・ 麦草峠周辺
10/19 (日)	登ろうふるさとの山	
1/16 (金)	新年会兼第4回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
2/5 (木)	第5回幹事会	支部役員改選
3/6 (金)	支部総会 懇親会	2025年度活動報告・決算 2026年度活動計画・予算

登山部

2025 年度方針

協会活動方針に基づき、協会内外の登山愛好者に交流と啓発の場を提供すること、また事業を開催する各委員会も横のつながりを持って共同で事業にあたることで登山部全体が活性化することを目標に、今年度も事業運営を行う。

【4 事業計画】

4 事業	開催予定日
第 28 回雪上技術交流会 in 針ノ木	5/10～11
第 39 回長山協キャンプ in 小川山	9/27～28
長山協「山のセミナー」	1/24
第 11 回Wミーティング in 八ヶ岳	2/14～15

登山部 遭難対策委員会

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 遭難対策として、①山岳遭難の予防、②危急時・遭難発生時の被害軽減を目的として下記の研修を実施する。
 - ① 山岳遭難の予防
研修内容：雪上技術、ロープワーク等
 - ② 危急時・遭難発生時の被害軽減
研修内容：岩場のセルフレスキュー、雪崩対応等、ファーストエイド等
※研修においては、指導委員会、山岳総合センター等と協力しておこなう。
- ・ 遭難事故発生時において、単一山岳会で対応できない部分についての支援をおこなう。

2) 活動計画

- 登山部主催事業の実施
- 山岳センター事業への共催
- 遭対委員会の実施
- JIMSCA 全国遭難対策委員長会議、全国山岳遭対対策協議会への参加

期 日	項 目	活動内容
5 月	登山部合同委員会	顔合わせ、年間計画確認
7 月 5 日～6 日	JIMSCA 全国遭難対策委員長会議・研修会	
7 月	全国山岳遭難対策協議会	
11 月 29 日(土)	スキルアップ研修会① (センター、指導委共催)	体のメンテナンス
1 月 31 日(土)	スキルアップ研修会② (センター、指導委共催)	雪山登山技術

登山部 自然保護委員会

2025 (R7) 年度活動計画

1) 活動方針

各支部の委員の活動を期待しつつ、長野県山岳総合センター及び登山部各委員会とも連携を図りながら観察会を中心に、協会員及び一般が「参加したい」と思える活動を行う。

長山協 HP や SNS 投稿なども活用した事業を実施していく。

2) 活動計画

期 日	項 目	活 動 内 容
5 月 18 日(日)	春の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催 (戸隠森林植物園)
11 月 15 日(土)	秋の植物観察会	長野県山岳総合センターと共催 (鷹狩山)
1 月 17 日(土)	冬の野鳥観察会	長野県山岳総合センターと共催 (御宝田)
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集、協会 SNS を通じて広く信州の山のすばらしさを周知する。HP 担当と協力。会員へ投稿の呼びかけ。

【対外・外部会議等】

- 1 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会
- 2 高山植物等保護対策協議会
- 3 中央アルプス国定公園管理運営計画意見交換会
- 4 J M S C A 自然保護委員会

ジュニア委員会

2025年度 活動計画

(1) 活動方針

- ①登山、自然体験教室を実施する（いずれも山岳総合センターとの共催）
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行う。

(2) 実施予定

回	実施日	教室名称	実施場所
1	8月2日（土） ～3日（日）	第1回登山教室 たかがりキッズキャンプ	山岳総合センター 鷹狩山周辺
2	9月20日（土） ～21日（日）	第2回登山教室 親子クライミングキャンプ	山梨県北杜市白州ボルダー センターボルダリング教室参加者のみ
3	11月8日（土）	第3回登山教室 親子サバイバルDAYキャンプ	松本市アルプス公園
4	2月8日（日）	第4回登山教室 雪のたかがり山ハイク	山岳総合センター 鷹狩山周辺

登山部 国際登山委員会

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 西藏登山協会およびネパール登山協会との友好関係事業の継続
- ・ 国際交流の推進
- ・ 海外登山検討会の実施
- ・ 長山協 山のセミナー開催
- ・ JMSCA 国際 AC 委員会の会合に参加、情報収集
- ・ 「2025 サマーキャンプ企画」(トレッキング隊派遣)の実施

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
6/14～15	JMSCA 国際 AC 総会出席	海外登山技術研究会(同時開催)出席
7/下旬～ 8/中旬	「2025 サマーキャンプ企画」	トレッキング隊派遣
1月24日	長山協 山のセミナー開催	他委員会との共同開催
(随時)	海外登山検討会実施	計画検討

医科学委員会

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ・医科学委員会は、『健康増進や予防の重要性』『安全で確実な登山』など、共に学びながら情報を提供してまいります。

2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
年間で2回程度	『やまなみ』への寄稿	登山やクライミングに必要な体づくり他
6月28日	講習会の開催	坂本元太講師による 『野外救命講習』 会場：信州リハビリテーション専門学校

国スポ委員会

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ① 国スポ選手の選出、派遣
- ② 国スポ選手・国スポ候補選手参加の強化合宿のサポート
- ③ 選手の発掘および育成に向けて、クライミングジムへの協力依頼および連携。
- ④ 長野県スポーツ協会との連携

2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月13日	県クライミング大会（国スポ県予選） ちゃんめろ	本年度県代表選手決定
5月	北信越五県代表者会議（富山県） 県スポーツ協会競技力向上専門委員会	北信越国スポ抽選等
6月	北信越国スポ申込締め切り	北信越国スポの手続き等
7月26～27日	北信越国民スポーツ大会（富山県）	選手強化合宿
9月	国民スポーツ大会監督会議（長野市）	滋賀国スポの手続き等
10月3～5日	国民スポーツ大会（滋賀県）	選手強化合宿
11月	県スポーツ協会ヒアリング（長野市） 北信越5県連絡協議会（福井県）	本年度国スポ成績等
12月 12月13～14日	理事長・競技力向上専門委員合同会議 北信越ブロック研修会（長野県）	今後の選手強化等

競技部 スポーツクライミング委員会

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ① 強化指定選手中心の錬成。
- ② クライミングジムとの連携強化。
- ③ 長野県スポーツ協会との連携強化。

2) 活動内容

- ① 委員会を年4回開催し、指導方針と選手の成長を話し合う。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習をする。
- ③ 全種別合同での練習会または講習会を年4回開催する。
- ④ 複数種別が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自での錬成（合宿）をそれぞれ開催する。
- ⑤ 県のマルチサポート事業を積極的に活用する。
- ⑥ トップコーチ招聘事業を活用する。
- ⑦ 強化選手を指定する。

国スポ準備室

2025年度活動計画

1) 活動方針

- ・市、県との綿密な連携
- ・役員募集・養成
- ・国スポの準備を粛々と進める

2) 活動計画

- ①JMSCA 国スポ委員会常任委員としての活動（毎月）
- ②大町市、長野県との連絡調整
- ③県からの各種調査への協力
- ④会議への出席
- ⑤役員募集・養成
- ⑥その他

※③～⑥については今のところ下記の通り

期 日	項 目
5月	競技用具整備調査(第三次)
5月	競技役員編成調査(第二次)
5月	競技補助員協力依頼希望調査
7月	競技運営担当会議
10月3日	滋賀国スポ視察(～5日)
12月	ブロック研修会への協力(審判養成)

3) 長野国スポについて

- ◇期日 2028年10月7日(土)～9日(月) [予定]
- ◇場所 旧大町北高跡地特設スポーツライミング会場

高体連

2025年度活動計画

1. 活動方針

- ① 県総合体育大会登山大会や東北中南信地区新人大会の開催。
- ② 北信越大会の開催
- ③ 第68回全国高等学校登山大会・第15回全国高等学校選抜クライミング選手権大会への選手派遣、支援
- ④ 県内高校生の山岳部員数の拡大、安全登山の啓蒙。

2. 活動内容

- ① 令和7年度（南信地区）総合体育大会
期 日 令和7年5月16日(金)～5月17日(土)
場 所 茅野市
会 場 蓼科山・双子池一帯
- ② 令和7年度 長野県高等学校総合体育大会 第54回登山大会
期 日 令和7年6月5日(木)～6月7日(土)
場 所 上田市
会 場 根子岳・四阿山
- ③ 令和7年度 北信越高等学校体育大会 第37回北信越高等学校登山大会
期 日 令和7年6月19日(木)～21日(土)
場 所 上田市
会 場 根子岳・四阿山
- ④ 令和7年度 全国高等学校体育大会 第69回全国高等学校登山大会
期 日 令和7年8月5日(火)～8月9日(土)
場 所 広島県安芸太田町
会 場 恐羅漢山・十方山・深入山
- ⑤ (南信地区) 沢登講習会
期 日 令和7年8月23日(土)～24日(日)
場 所 泰阜村
会 場 万古溪谷
- ⑥ 令和7年度地区新人体育大会
東信地区：湯ノ丸（東御市） 9月27日（土）～28日（日）
北信地区：黒姫山・戸隠キャンプ場 9月12日（金）～13日（土）
- ⑦ 第16回全国高等学校選抜クライミング選手権大会
期 日 12月
会 場 埼玉県加須市

個人会員

2025 年度活動計画

1) 活動方針

- ・ 継続・入会対応と手続き、及び会員証の作成送付
- ・ イベント案内の発信
- ・ 山岳関連情報の発信

山岳図書資料館

2025 年度活動計画

1) 活動方針

山岳関係者からの図書資料寄贈、寄託に関する紹介・調整の実施。
状況に応じた山岳博物館との協議・調整の実施。

SKIMO（山岳スキー競技）

2025 年度活動計画

1) 活動方針

国内大会実施に伴う協力依頼への対応。

第18回 SKIMO(山岳スキー)競技日本選手権 志賀高原大会（4月19日～20日）スタッフ派遣

SKIMO の認知と理解の推進。

将来に向け協会内での位置づけの明確化を検討。

2025(令和7)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理のポイント

(1) 主催事業

(ア) 次世代の育成につながる事業への注力

① 高校山岳部生徒、顧問対象

- ・ 県内の高校山岳部、登山部に在籍している生徒対象の交流を兼ねた研修会の開催(9、12月)

② 中学校登山にかかわる事業

- ・ 教職員向け登山実践講座の継続開催(県総合教育センターとコラボ2回 硫黄岳)(5、8月)
- ・ 学校登山に協力できる長山協会スタッフ登録及び派遣窓口の開設

③ 子ども及び親子向け講座の充実

- ・ 「わくわくチャレンジ教室」「信州・山の自然学校」の開催(協会ジュニア委員会との共催)
- ・ わいわいKids ボルダリング教室の開催(月2回、2部制、未就学児も対象)
- ・ 不登校児童生徒の支援の一環として、大町市中間教室「アルプスの家」の授業への協力の継続と、松川村と白馬村の中間教室への拡大

(イ) 従来のような講習会や研修会開催中心の事業展開からの転換

- ・ 直接講習だけでなく、動画やオンライン利用による遠方居住者や幅広い世代のエンドユーザーに広がるような事業への注力
- ・ 講習会、研修会の対象者や講習内容の精査

(ウ) 安全登山の普及啓発事業の推進

① 安全登山の普及啓発に結び付く講習会や研修会を開催していく

- ・ 遭難の多いシニア層対象の登山教室の開催を継続
- ・ 登山のための体づくりの講座の開催

② 安全登山の普及啓発のための情報発信の充実

- ・ デジタルツールのさらなる活用による、遠方居住のユーザーも気軽に学べる機会の提供
- ・ HP やブログ、SNS の更なる活用による安全登山の普及啓発のための情報発信

(エ) 協会とのかかわり

- ・ 協会の指導、遭対、ジュニア、自然保護委員会との、講習会や研修会、教室の共催(指導者資格更新講習会としての開催も)

(2) 利用事業

- ・ 気持ちよく安全に利用してもらえるよう施設管理
- ・ 人工岩場の利用料金収受については、県や市とも相談をしながらより良い方法を探っている

(3) 管理その他

(ア) 専門性の高い優秀な人材やセンターへの協力者確保に向けて、常にアンテナを高くしていく

(イ) 公的機関として信頼度の高い登山情報や、基本的な知識・技術情報を動画等での発信

(ウ) 職員の専門性の向上のための研修機会を増やす体制づくり

(エ) 協会所有の低酸素装置の管理継続

規約改正について

1. 適切な組織の名称、役割とするため、「国スポ準備室」の名称を「2028 やまなみ国スポ準備委員会」に変更し、関連する条項を変更する。

第 21 条 (国スポ準備室→2028 やまなみ国スポ準備委員会)

1. 長野国スポの円滑な企画運営のために、~~国スポ準備室~~2028 やまなみ国スポ準備委員会をおく。
2. ~~国スポ準備室~~2028 やまなみ国スポ準備委員会には、担当の理事をおく。
3. 2028 やまなみ国スポ準備委員会担当理事は、必要に応じて準備室の室員を置くことができる。その際は理事会に諮る。

組織図

国スポ準備室→2028 やまなみ国スポ準備委員会

2. 旧中高年登山協加盟団体がすべて退会したことにより関連する条項を変更する。

第 27 条

本協会の目的達成に資する為、次の付属機関及び構成員をおくことができる。

~~1. 親睦を目的とする旧中高年登山協加盟団体~~

1. 長野県山岳総合センター指定管理に伴う運営管理部及び部員
2. 山岳図書資料館の円滑な運営に資する運営委員会及び委員

付則 3. 別表

評議員数および分担金

加盟団体会員数	評議員数	分担金の金額
5 名 以下	1 名	20,000 円 (15,000+ 5,000)
6 名～ 10 名	1 名	25,000 円 (15,000+ 10,000)
11 名～ 15 名	1 名	30,000 円 (15,000+ 15,000)
16 名～ 20 名	1 名	35,000 円 (15,000+ 20,000)
21 名～ 25 名	1 名	40,000 円 (15,000+ 25,000)
26 名～ 30 名	1 名	45,000 円 (15,000+ 30,000)
31 名～ 35 名	1 名	50,000 円 (15,000+ 35,000)
36 名～ 40 名	1 名	55,000 円 (15,000+ 40,000)
41 名～ 45 名	1 名	60,000 円 (15,000+ 45,000)
46 名～ 50 名	1 名	65,000 円 (15,000+ 50,000)
51 名～ 75 名	2 名	75,000 円 (15,000+ 60,000)
76 名～100 名	2 名	85,000 円 (15,000+ 70,000)
101 名～125 名	3 名	95,000 円 (15,000+ 80,000)
126 名～150 名	3 名	105,000 円 (15,000+ 90,000)
151 名 以上	3 名	115,000 円 (15,000+100,000)
高体連	1 名	20,000 円 (協定金額)
旧中高年登山協加盟団体	0 名	10,000 円

加盟団体会員数は、前年度の登録人数とする。

長野県山岳協会規約

第 1 章 総 則

第 1 条（名称・所在地）

本協会は、長野県山岳協会（以下「本協会」という）といい、英語名を NAGANOMOUNTAINEERING ASSOCIATION. JAPAN(略称N. M. A. JAPAN)とし、事務局を長野県内におく。

第 2 条（組 織）

本協会は、長野県内に事務所を持つ山岳団体で、第 4 条の目的に賛同して加盟するもの、及び長野県山岳協会の活動に賛同して加盟する個人をもって組織する。なお、県外を本拠地としていても、本協会の活動に賛同する団体が加盟を希望すれば、理事会にて審議した上で加盟を認めることもある。なお個人会員については、協会規約とは別の規程を定める。

第 3 条

本協会は、（公財）長野県スポーツ協会および（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟する。

第 2 章 目 的 お よ び 事 業

第 4 条（目 的）

本協会は、正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与することを目的とする。

第 5 条（事 業）

本協会は、前条の目的を達成するため、必要に応じて次の事業を行う。

- (1) 登山道徳の啓蒙と安全な登山の普及
- (2) 登山の普及および技術の向上に関する研究会、講習会の開催
- (3) 山岳遭難の予防とその対策に関する企画および指導
- (4) 自然保護活動の推進と登山施設の愛護
- (5) 競技登山の推進
- (6) 海外登山の推進、情報の収集・提供および計画の指導ならびに相談
- (7) 機関紙、年報その他必要な出版物の発行
- (8) 長野県山岳総合センターの運営
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

第 6 条

本協会の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 3 章 加 盟 団 体

第 7 条（加 盟）

1. 本協会に加盟しようとする団体は、事務局に届け出て、理事会の承認を得なければならない。
2. このほかに必要とする事項は、総会にはかり、別に定める。

第 8 条（脱 退）

本協会を脱退するには、理由を付した文書で届け出て理事会の承認を得なければならない。

第 9 条（除 名）

加盟団体が次の各号の一つに該当するときは、理事会および総会の議決をもって除名することができる。

- (1) 分担金を理由なく滞納したとき
- (2) 本協会の名誉を傷つけ、または本協会の目的に反する行為があったとき
- (3) 加盟団体の解散および消滅
- (4) 上記に準ずる事由がある場合

第 4 章 役 員

第10条 (役員の種類および員数)

1. 本協会に、次の役員をおく。

理事28名以内うち、会長1名

副会長若干名

理事長1名

事務局長1名

監事2名

2. 前項に規定する役員のほか、会長は総会の議を経て名誉会長、顧問および参与を委嘱することができる。

第11条 (役員の仕事)

1. 会長は、本協会を代表し会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたときはその職務を代行する。
3. 理事長は、日常の協会業務を処理する。
4. 事務局長は、事務局を運営し、協会会計を処理する。
5. 理事は、理事会を組織し、本協会の業務を議決し執行する。
6. 監事は、会計を監査する。
7. 名誉会長、顧問は、会長の諮問に応え、必要に応じて意見を述べるすることができる。

第12条 (役員を選出)

1. 会長、副会長は、総会で推挙する。
2. 会長および副会長を除く理事は、次の各号に掲げる者とする。
 - (1) 各支部から選出された支部長
 - (2) 各専門部、専門委員会から選出された専門部長、専門委員長
 - (3) 総会の承認を得て、会長が委嘱した者
3. 理事長および事務局長は、理事の互選により理事会で選出する。
4. 監事は、総会で選出する。

第13条 (役員の仕事)

1. 役員の仕事は2年とし、再任を妨げない。
2. 補充役員の仕事は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は仕事を満了しても、後任者が選出されるまでは、その職務を行う。

第14条 (役員の仕事)

本協会の役員としてふさわしくない行為があったとき、または特別な事情がある場合は、総会の議決によりこれを解任することができる。ただし総会の開催が困難な場合は、理事会の議決をもってかえることができる。

第 5 章 機 関

第15条 (会 議)

1. 本協会の会議は、総会、理事会とする。

2. 総会は会長が召集し、理事会は理事長が招集する。ただし評議員または理事の3分の1以上から目的を示して請求があったときは、会長または理事長は、速やかに総会または理事会を招集しなければならない。
3. 会議の議長は、総会においては出席評議員の互選により選出し、理事会においては理事長がつとめる。
4. 会議の議決は、本規約で特に定めてあるほかは、出席者の過半数によって決め、可否同数のときは議長が決める。

第16条（総会）

1. 総会は、本協会の意思決定機関であって、毎年4月定例総会を開催するほか、必要に応じて臨時総会を開催する。
2. 総会の開催通知は、日時、場所および議案を明示して開催日の15日前までに発送しなければならない。ただし緊急やむをえないときは、この期間を短縮することができる。
3. 総会は、評議員現在数の過半数の出席（代理出席者を含む）により成立する。ただし出席できない評議員は、その議決権を他の評議員に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。
4. 各加盟団体、高体連の評議員数は、付則別表による。
5. 総会の議を経なければならない事項は、次の通りである。
 - (1) 前年度の事業報告および決算報告
 - (2) 新年度の事業計画および予算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員の選出、推挙および解任
 - (5) その他重要事項
6. 議長は、議事録署名人2名を指名し、議事録を作成する。
7. 理事その他の役員は、総会に出席して意見を述べることができる。

第17条（理事会）

1. 理事会は、本協会の業務執行機関であって、必要に応じて随時開催する。
2. 理事会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。ただし再度招集した場合はこの限りではない。

第18条（専門部・専門委員会）

1. 本協会に第4条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。

- (1) 登山部

指導委員会

遭難対策委員会

自然保護委員会

ジュニア委員会

国際登山委員会

医科学委員会

- (2) 競技部

国スポ委員会

スポーツライミング委員会

2. 各専門委員会の規定は、理事会の議を経て別に定める。
3. 各専門委員会は、各支部から推挙された者と専門委員会の委嘱委員をもって構成する。

第19条（総務部）

1. 協会に、円滑な業務運営のため総務部をおく。
2. 総務部には、担当の副会長をおく。
3. 総務部には、理事会で承認された事務員をおく。
4. 総務部内には、広報担当と会計担当及びホームページ担当をおく。
5. 総務部の規定は、理事会の議を経て別に定める。

第20条 （四役会）

1. 協会並びに理事会の円滑な運営のために、四役会をおく。
2. 四役会には、会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長をもって構成する。

第21条（国スポ準備室 2028 やまなみ国スポ準備委員会）

1. 長野国スポの円滑な企画運営のために、国スポ準備室 2028 やまなみ国スポ準備委員会をおく。
2. 国スポ準備室 2028 やまなみ国スポ準備委員会には、担当の理事をおく。
3. 2028やまなみ国スポ準備委員会担当理事は、必要に応じて準備室の室員を置くことができる。その際は理事会に諮る。

第6章 支部・高体連

第22条 （支部）

本協会の目的を各地区の実状に合わせて遂行し、あわせて地域の独自性と創造ある活動で本協会全般の発展に寄与することを目的に支部をおく。

第23条

支部は、原則として本協会の加盟団体によって構成される。

第24条

支部は、次の各地域ごとに設置する。ただし組織が全県下にわたり、いずれの支部にも所属しがたいと認められる場合には、理事会の議を経て全県組織とすることができる。

- (1) 東北信支部 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、上水内郡、下水内郡、上高井郡、下高井郡、上田市、小諸市、佐久市、東御市、埴科郡、南佐久郡、北佐久郡、小県郡
- (2) 中信支部 松本市、塩尻市、大町市、安曇野市、東筑摩郡、木曾郡、北安曇郡
- (3) 諏訪支部 諏訪市、茅野市、岡谷市、諏訪郡
- (4) 伊那支部 伊那市、駒ヶ根市、飯田市、上伊那郡、下伊那郡

第25条

支部の規約は、理事会の承認を経て支部ごとに定める。

第26条 （高体連）

各高等学校の登山部は、高等等学校体育連盟（通称は高体連）登山専門部として加盟する。

第7章 付属機関等

第27条

本協会の目的達成に資する為、次の付属機関及び構成員をおくことができる。

~~1. 親睦を目的とする旧中高年登山協加盟団体~~

1. 長野県山岳総合センター指定管理に伴う運営管理部及び部員
2. 山岳図書資料館の円滑な運営に資する運営委員会及び委員

第8章 会計

第28条 （経費）

本協会の経費は、加盟団体の分担金、寄付金その他の収入をもってあてる。

第29条 （分担金）

1. 本協会の加盟団体、高体連は、毎年付則別表に規定する額の分担金を納入しなければならない。
2. 分担金は、毎年5月までに納入するものとする。
3. 本協会へ新規に加盟した団体は、分担金の納入を1年間免除される。

第30条 （会計年度）

本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 10 章 規 約 の 改 廃 ・ そ の 他

第31条 （規約の改廃）

本規約は、総会に付議して、出席評議員の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。

第32条 （運営細目）

本規約を運営するために必要な細則は、理事会でさだめることができる。

附 則

1. 本規約は、1966年8月7日から施行する。

2. 一部改正1972年 4月9日

1976年 4月4日

1977年 4月3日

1981年 3月20日

1984年 4月8日

1989年 10月29日

1993年 4月4日

1996年 4月7日

1998年 4月5日

2003年 4月6日

2005年 4月3日

2008年 4月13日

2012年 4月1日

2013年 4月15日

2018年 4月8日

2019年 4月14日

2020年 4月12日

2021年 4月11日

2022年 4月10日

2024年 4月7日

2025年 4月6日

3. 別 表

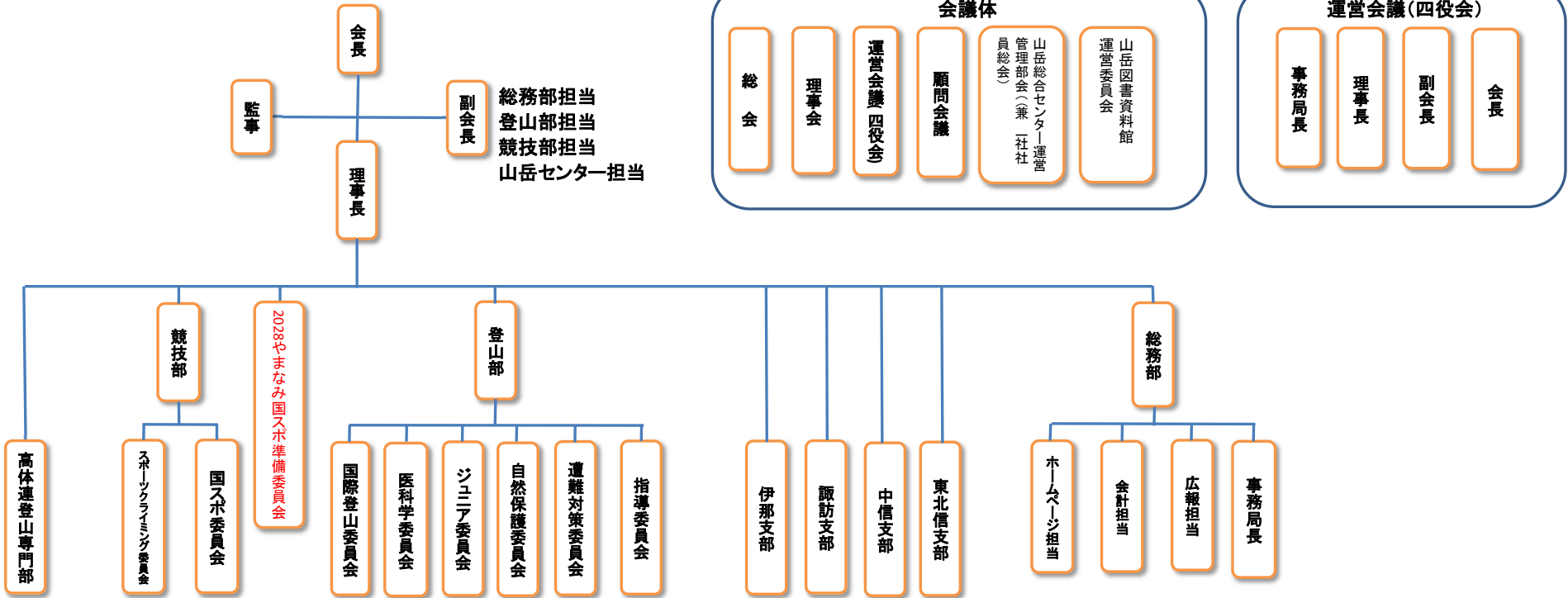
評議員数および分担金

加盟団体会員数	評議員数	分担金の金額
5名以下	1名	20,000円(15,000+ 5,000)
6名～10名	1名	25,000円(15,000+ 10,000)
11名～15名	1名	30,000円(15,000+ 15,000)
16名～20名	1名	35,000円(15,000+ 20,000)
21名～25名	1名	40,000円(15,000+ 25,000)
26名～30名	1名	45,000円(15,000+ 30,000)
31名～35名	1名	50,000円(15,000+ 35,000)
36名～40名	1名	55,000円(15,000+ 40,000)
41名～45名	1名	60,000円(15,000+ 45,000)
46名～50名	1名	65,000円(15,000+ 50,000)
51名～75名	2名	75,000円(15,000+ 60,000)
76名～100名	2名	85,000円(15,000+ 70,000)
101名～125名	3名	95,000円(15,000+ 80,000)
126名～150名	3名	105,000円(15,000+ 90,000)
151名以上	3名	115,000円(15,000+100,000)
高体連	1名	20,000円(協定金額)
旧中高年登山協加盟団体	—0名	10,000円

加盟団体会員数は、前年度の登録人数とする。

長野県山岳協会組織図

2025.04.06 改定



2024年度 長野県山岳協会一般会計決算書

1 収入 【日本山岳・スポーツクライミング協会＝JMSCAと略称表記】

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	比較増減	備考
加盟分担金	900,000	900,000	0	29団体 1旧中高年団体
個人会員会費	120,000	150,000	30,000	5000×24名計画→30名に
JMSCA還付金	250,000	275,936	25,936	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛助広告料	262,000	293,000	31,000	やまなみ賛助広告、Webバナー広告 9社計画→11社に
補助金	330,000	310,000	△ 20,000	山岳共済5、ジュニア育成5、県山岳遭対8→6、県国スポ役員養成15
雑収入	414	4,155	3,741	利息、低酸素装置利用¥3,800
繰越金	994,586	994,586	0	(2024年度開始時一般会計通帳:322,312、個人会計:672,274)
収入合計	2,857,000	2,927,677	70,677	

2 支出

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	比較増減	備考
JMSCA会費	260,000	260,000	0	JMSCAへ
県スポーツ協会分担金	140,000	138,800	△ 1,200	競技力向上補助金の負担金13万円、イベントに係る賠償責任保険負担金8.8千円
支部交付金	46,000	46,000	0	東北信8 中信5 諏訪7 伊那3 @2000
高体連交付金	50,000	50,000	0	地区大会補助 他
登山部全体活動事業	60,000	48,100	△ 11,900	山岳セミナーなど登山部全体での活動費
国際登山研修事業	20,000	0	△ 20,000	海外登山検討会実施したが費用の発生無し
自然保護研修事業	30,000	57,660	27,660	JMSCA自然保護委員総会出席、研修会実施
遭難対策研修事業	20,000	0	△ 20,000	JMSCA遭難対策委員総会および研修会(登山部全体の活動参画)
指導研修活動事業	30,000	0	△ 30,000	JMSCA指導委員総会および研修会(登山部全体の活動参画)
ジュニア育成事業	100,000	64,500	△ 35,500	ジュニア登山教室2回実施、2回中止
医科学委員会補助	20,000	7,735	△ 12,265	医科学研修会(野外救命講習)
競技登山事業	400,000	400,000	0	県大会兼国スポ予選 他
スポーツクライミング育成事業	80,000	70,987	△ 9,013	講習会他
支部主催事業補助	80,000	60,000	△ 20,000	夏山登山教室他 各支部主催事業補助(1支部未実施)
特別事業費	200,000	401,236	201,236	国スポ視察・会議費38万円、他
長野国スポ準備費	20,000	32,090	12,090	第82回やまなみ国スポ大会会議、審判員養成
対外交流・交渉費	50,000	16,000	△ 34,000	県内外団体交流(アジア山岳連盟創立30周年式典)
北信越連絡協議会	60,000	66,360	6,360	北信越国体山岳競技分担金、北信越バナー作成費負担分他
協会会議費	70,000	61,315	△ 8,685	会議会場費、Zoom利用料、理事会交通費補助他
通信費	30,000	13,238	△ 16,762	郵便、宅配便など
印刷費	10,000	24,710	14,710	コピー代、協会封筒作成の為予算越え
備品・消耗品費	10,000	5,517	△ 4,483	コピー用紙、印刷消耗品等
旅費交通費	150,000	185,610	35,610	会議、打合せ等旅費補助(会議等への参加回数増)
慶弔費	20,000	16,500	△ 3,500	大西副会長、宮本顧問香典、生花
雑費	15,000	14,226	△ 774	振込手数料他
やまなみ印刷代	240,000	245,486	5,486	やまなみ印刷代、4回発行
やまなみ事務費	100,000	124,990	24,990	やまなみ発送代、発送作業交通費補助
Web関連費	50,000	18,750	△ 31,250	nmaj.com 1年更新
山岳図書資料館	30,000	25,300	△ 4,700	ネパール友好協定書表装費用¥25,300
特別会計積立	0	0	0	2024年度は行わなかった
予備費	466,000	0	△ 466,000	繰越金 他
支出合計	2,857,000	2,455,110	△ 401,890	

収入合計 2,927,677 円
支出合計 2,455,110 円 **差引** **472,567 円** **次年度繰越金**

2024年度 長野県山岳協会特別会計決算書

項目	金額	摘要
前年度繰越額	¥ 3,897,038	八十二銀行 普通
本年度収入額	¥1,817	利息
本年度支出額	¥0	
本年度末額	¥ 3,898,855	八十二銀行 普通

2024年度 会計監査報告

一般会計並びに特別会計決算報告に基づく全ての証拠書類について監査したところ、適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

2025年 4月 5日

監事

用中 幸雄

監事

三沢 悦郎

2025年度 長野県山岳協会一般会計予算(案)

1 収入

【日本山岳・スポーツクライミング協会＝JMCSAと略称表記】

科目	2024年度予算額	2025年度予算額	比較増減	備考
加盟分担金	900,000	895,000	△ 5,000	29団体(1団体退会)
個人会員会費	120,000	116,000	△ 4,000	¥5,000×22名 ¥6,000×1家族
J M S C A 還付金	250,000	250,000	0	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛助広告料	262,000	262,000	0	やまなみ賛助広告、Web/バナー広告 9社(24年度11社より2社減)
補助金	330,000	398,000	68,000	山岳共済5、ジュニア育成5、県山岳遭対8、県国スポ役員養成21.8
雑収入	414	2,433	2,019	利息 低酸素装置利用
特別会計繰入金	0	500,000	500,000	2024年度は繰越金で支出を補ってきたが、本年度は足りず特別会計から
繰越金	994,586	472,567	△ 522,019	(2025年度開始時一般会計通帳:471,831、個人会計:736)
収入合計	2,857,000	2,896,000	39,000	

2 支出

科目	2024年度予算額	2025年度予算額	比較増減	備考
J M S C A 会費	260,000	260,000	0	JMCSA へ
県スポーツ協会分担金	140,000	140,000	0	競技力向上補助金の負担金13万円、イベントに係る賠償責任保険負担金8.8千円
支部交付金	46,000	46,000	0	東北信8 中信5 諏訪7 伊那3 @2000(2024年度と変わらず)
高体連交付金	50,000	50,000	0	地区大会補助 他
登山部全体活動事業	60,000	60,000	0	山岳セミナーなど登山部全体での活動費
国際登山研修事業	20,000	20,000	0	JMCSA国際部総会研修会、海外登山研究会
自然保護研修事業	30,000	50,000	20,000	JMCSA自然保護委員会総会、自然保護関連会議参加および研修会実施
遭難対策研修事業	20,000	20,000	0	JMCSA遭難対策委員会総会および研修会
指導研修活動事業	30,000	20,000	△ 10,000	JMCSA指導委員総会、指導委員会経費、企画事業補助(実績より減額)
ジュニア育成事業	100,000	100,000	0	ジュニア登山教室(4回実施予定)、他
医科学委員会補助	20,000	20,000	0	医科学研修会他
競技登山事業	400,000	400,000	0	県大会兼国スポ予選 他
スポーツクライミング育成事業	80,000	80,000	0	講習会、ジュニア育成他
支部主催事業補助	80,000	80,000	0	夏山登山教室各支部主催事業補助
特別事業費	200,000	300,000	100,000	国スポ関係会議、視察 他
やまなみ国スポ準備費	20,000	100,000	80,000	第82回やまなみ国スポ大会審判・役員養成他
対外交流・交渉費	50,000	40,000	△ 10,000	JMCSA新年会、県内外団体交流、交渉経費(実績より減額)
北信越連絡協議会	60,000	60,000	0	北信越国体山岳競技分担金他
協会会議費	70,000	65,000	△ 5,000	会議会場費、Zoom利用料、理事会交通費補助他(実績から減額)
通信費	30,000	20,000	△ 10,000	郵便関係、宅配便など(実績から減額)
印刷費	10,000	10,000	0	コピー代他
備品・消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙、印刷消耗品等
旅費交通費	150,000	150,000	0	会議、打合せ等旅費補助
慶弔費	20,000	20,000	0	関係者冠婚葬祭
雑費	15,000	15,000	0	振込手数料他
やまなみ印刷代	240,000	270,000	30,000	やまなみ印刷代、4回発行(印刷代アップ)
やまなみ事務費	100,000	140,000	40,000	やまなみ発送代、発送作業交通費補助(郵便代アップ)
Web関連費	50,000	20,000	△ 30,000	レンタルサーバー 他(HP改修費用発生しない計画)
山岳図書資料館	30,000	10,000	△ 20,000	現時点で計画無し
予備費	466,000	320,000	△ 146,000	繰越金 他
支出合計	2,857,000	2,896,000	39,000	

2025 年度 長野県山岳協会特別会計予算（案）

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越額	¥3,898,855	八十二銀行 普通
本年度収入額	¥ 6,145	雑費(利息)
本年度支出額	¥500,000	一般会計へ繰出
本年度末額	¥ 3,405,000	八十二銀行 普通